

2018年3月期 決算説明会  
株式会社 メディアリンクス

**MEDIA LINKS**<sup>®</sup>  
Media Defined Networking<sup>®</sup>

2018年5月9日



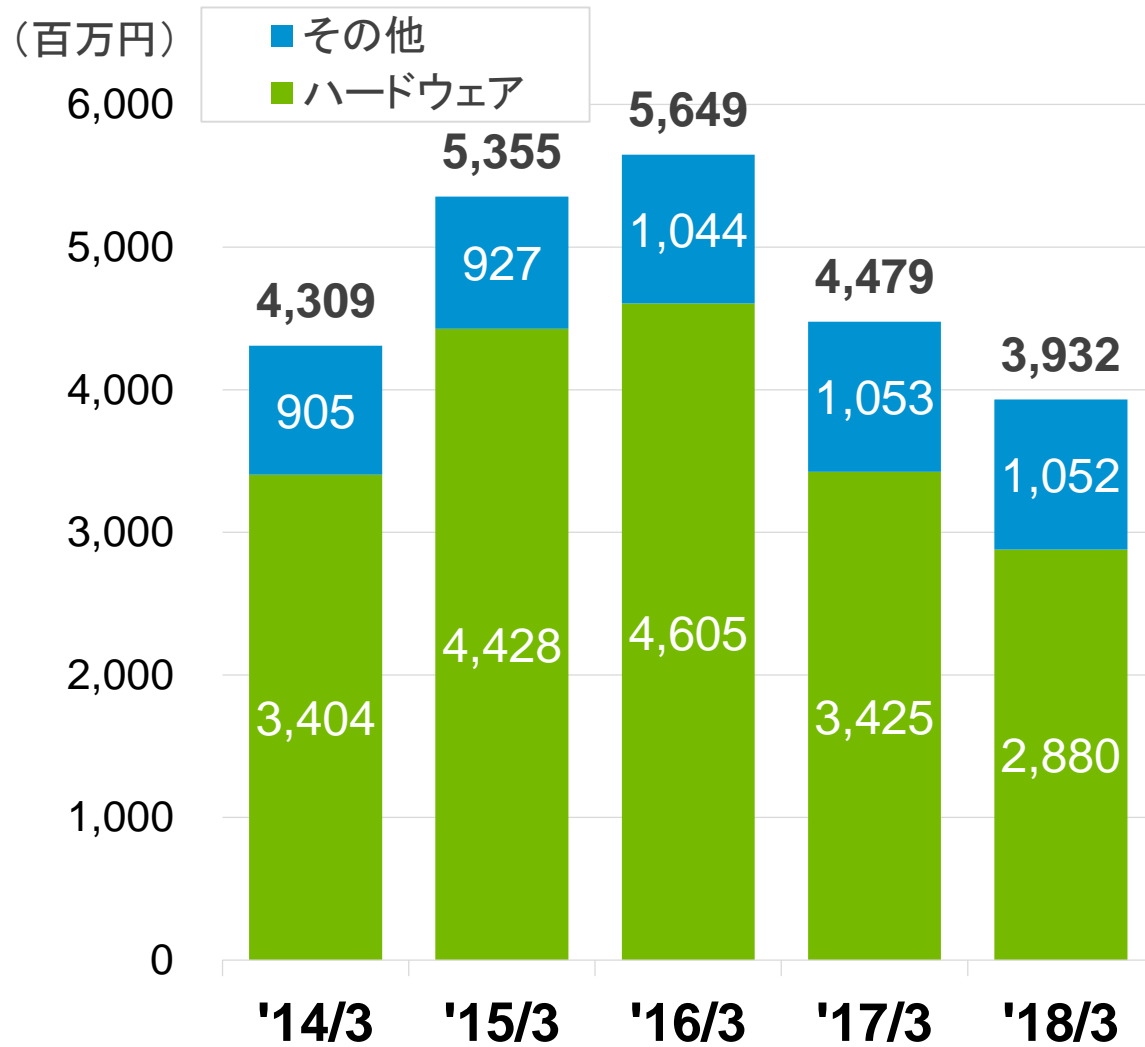
# 1. 2018年3月期 業績報告 (2017年4月～2018年3月)

(百万円)

	17年3月期	18年3月期	増減額	前年比
売上高	4,479	3,932	-546	-12.2%
売上総利益	2,592	2,142	-450	-17.4%
販管費	3,090	2,533	-556	-18.0%
営業利益	-497	-390	106	-
経常利益	-594	-401	192	-
当期純利益※	-924	-497	426	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

## 連結業績ハイライト



- ・前年比12.2%減少
- ・ハードウェア売上比率 73.2%
- ・海外売上比率60.6%

<要因>

引き続き、多くの放送事業者は投資に慎重な姿勢を取っている。

# 連結売上高

## 北米市場：減収

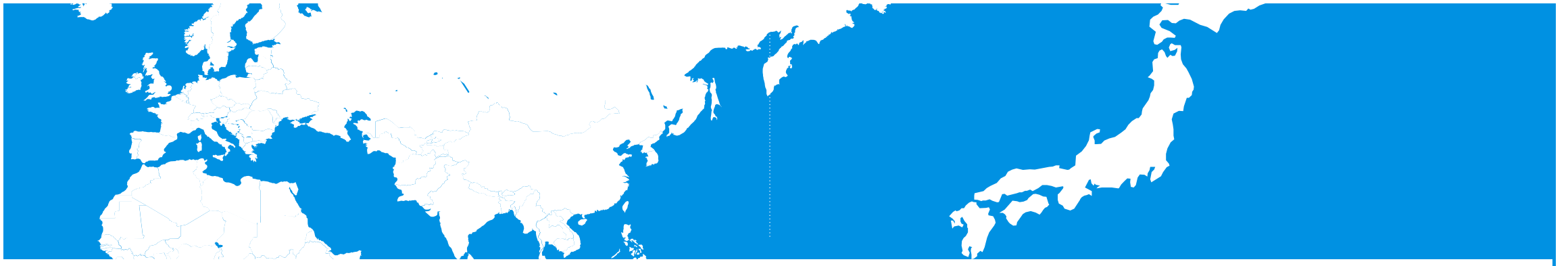
## オーストラリア市場：減収



- ・リモート プロダクションとIPワークフローの需要減速
- ・オリンピックや米国大統領選挙など、大規模なプロジェクトの減少
- ・米国の大口顧客による購買が大規模な企業買収による不透明感から遅れ
- ・IP標準規格が定まらないことによる混乱

- ・新しいネットワークの構築は、飽和状態
- ・顧客投資計画の変更

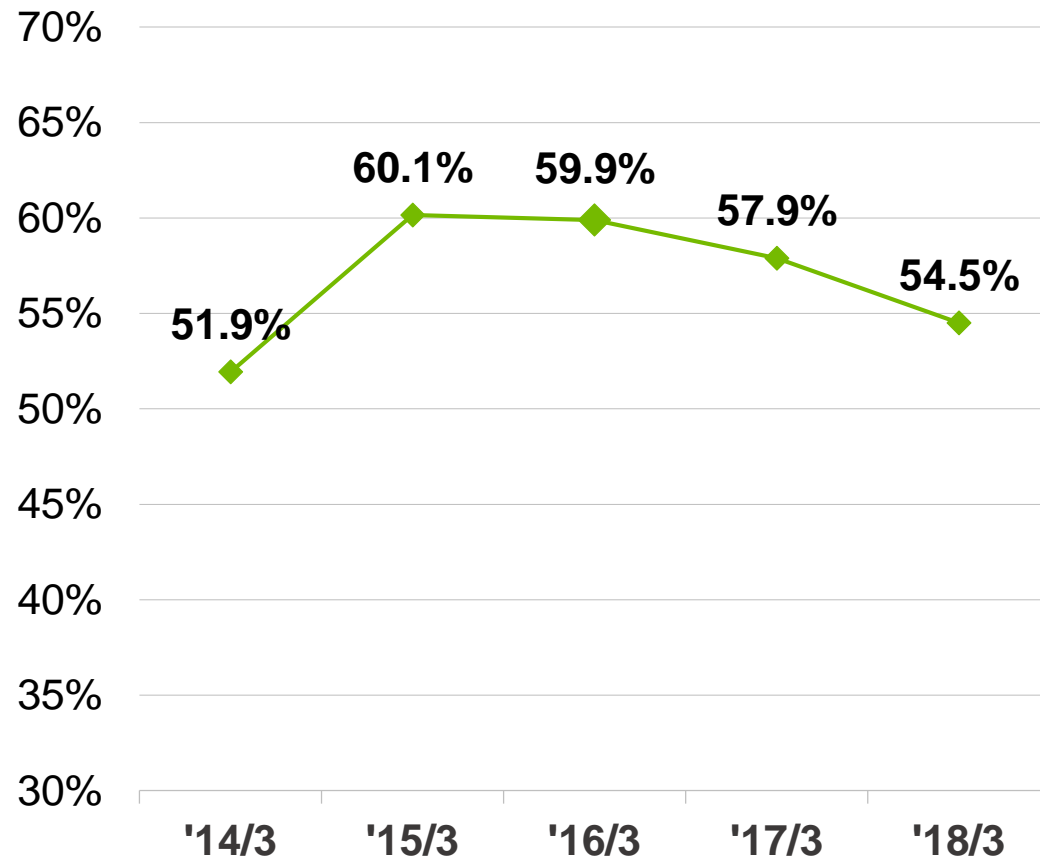
## 地域別売り上げ 北米・オーストラリア市場



・ 当社のMD8000およびMDP3020は、次回のワールドカップサッカーロシア大会で使用される予定

- ・ 放送局内IP化需要堅調
- ・ 通信会社、CATV向けの映像伝送装置が堅調

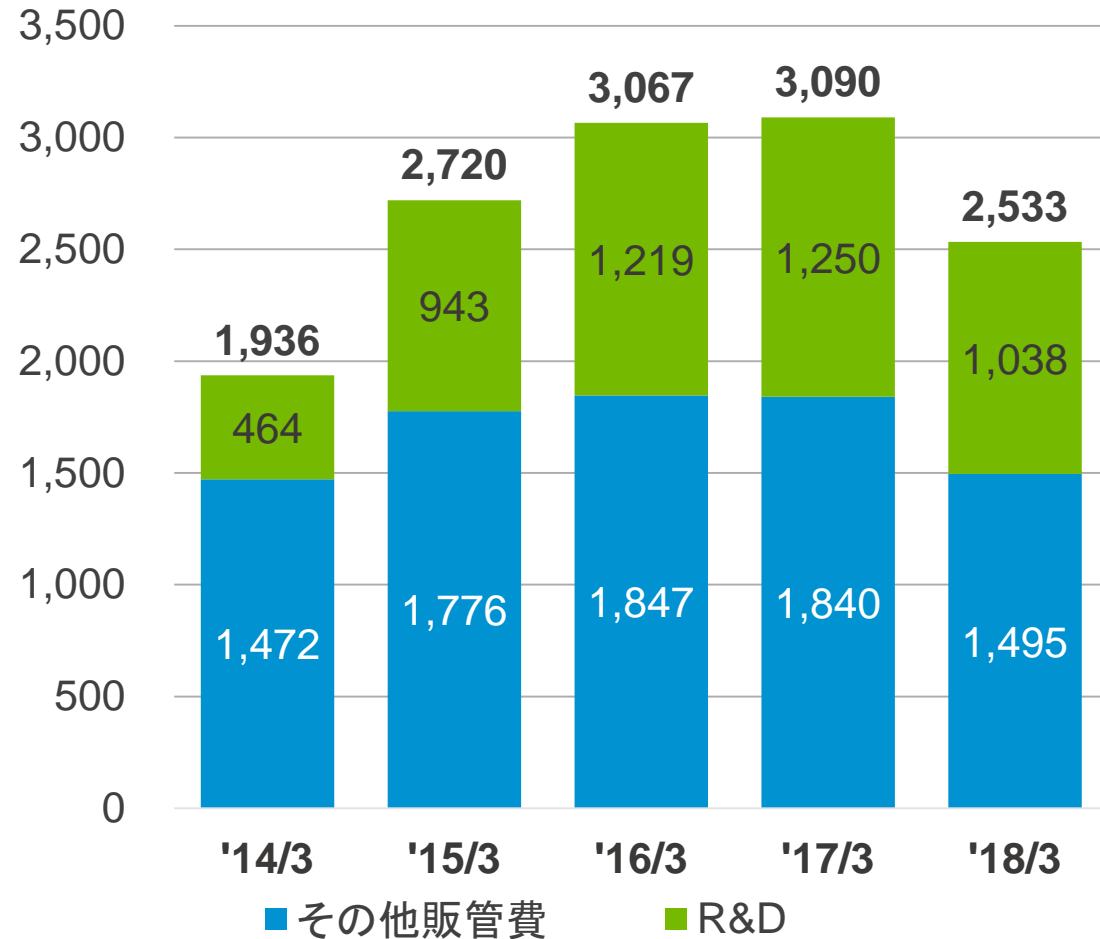
地域別売り上げ 欧州・国内市場



- 売上総利益率54.5%
- 国内放送局向けのシステム構築プロジェクトの影響により、昨年比で減少
- 主力製品であるMD8000シリーズの競争力は引き続き維持

## 売上総利益率

(百万円)

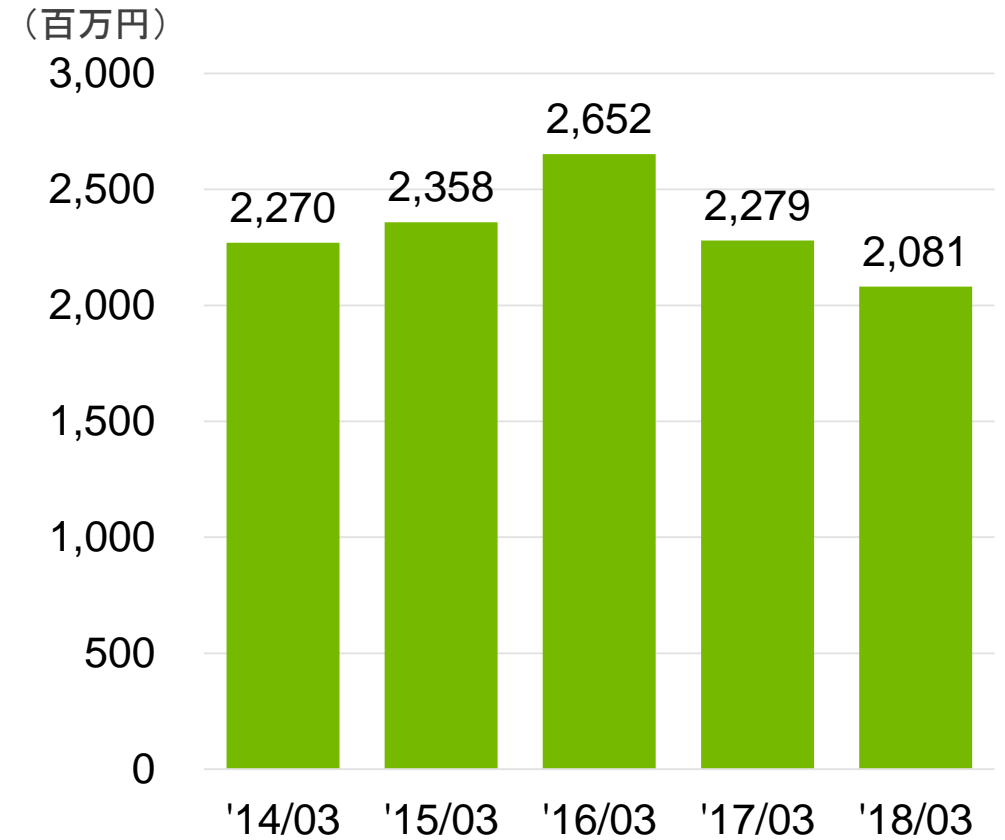
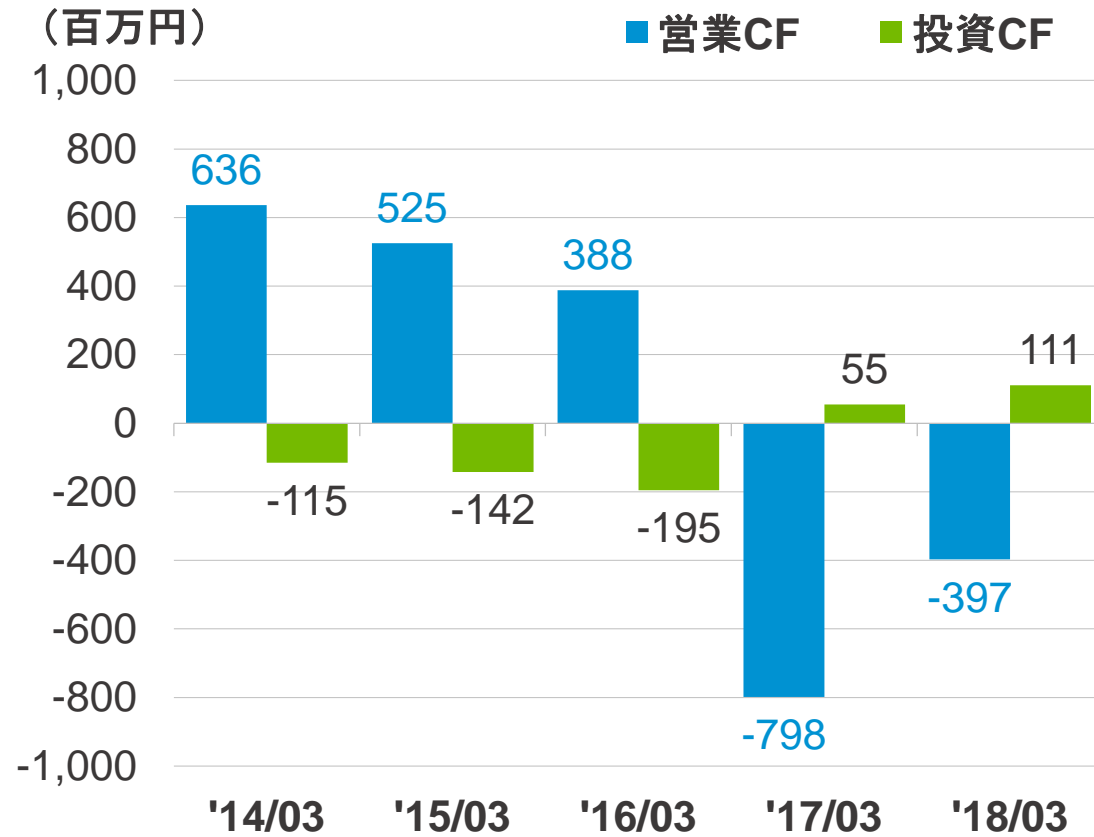


# 販売費及び一般管理費

- 前年比 -18.0%
- 研究開発費 1,038百万円  
前年比 -16.9%  
売上高研究開発費比率 26.4%
- 継続的な経費削減
- 3月末人員数(連結)  
前期末比11名減(-10.4%)

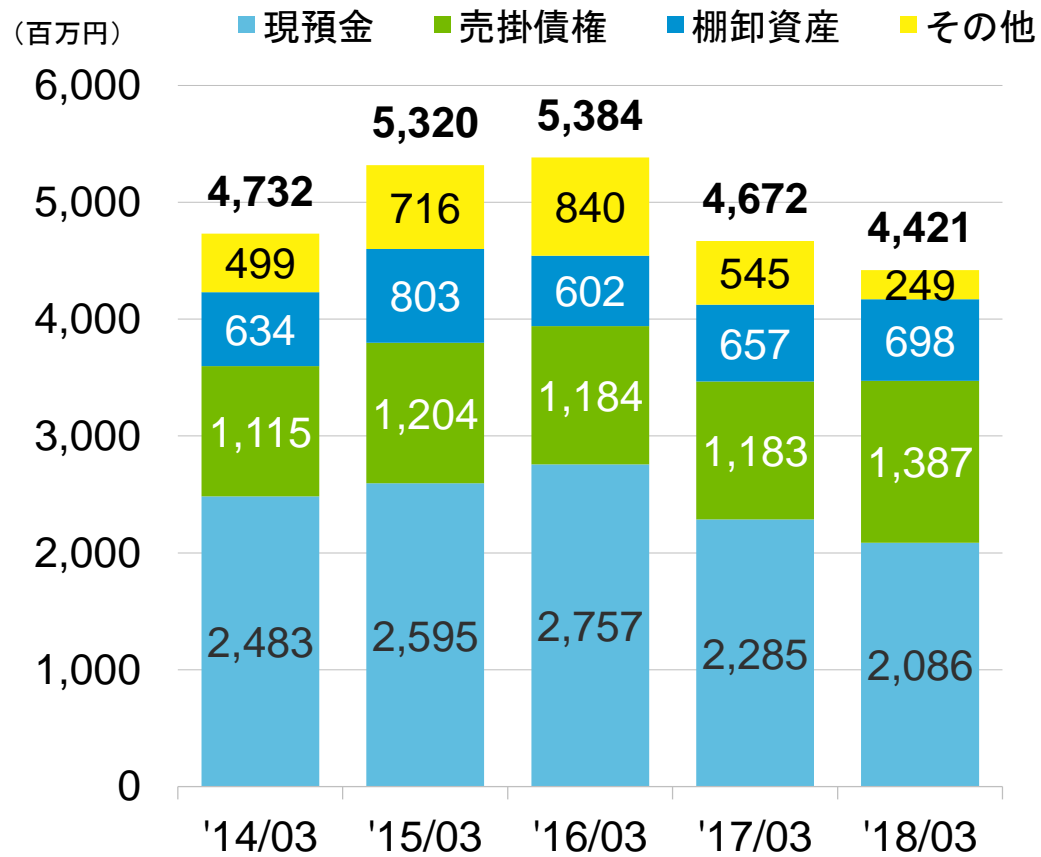
16/3	17/3	18/3
95	106	95



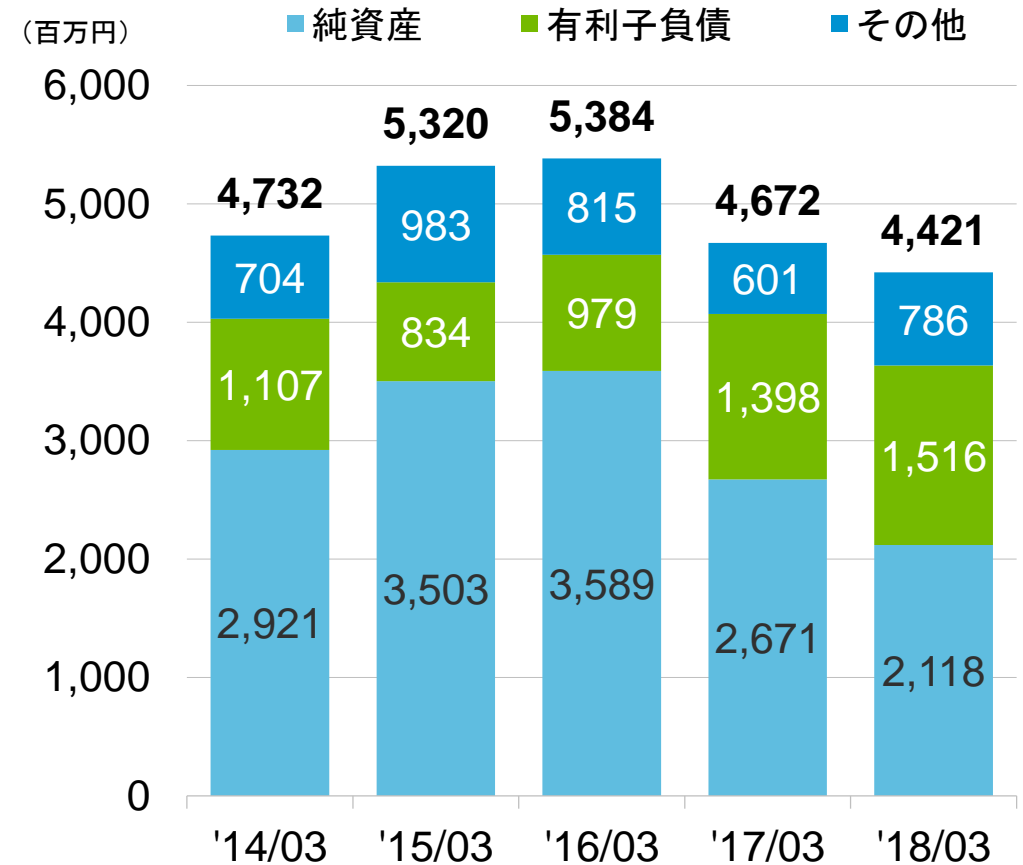


## キャッシュ・フロー

## 現金および同等物残高



資産



負債および純資産

# 貸借対照表

## 2. 2019年3月期 計画概要

ワイド・エリア・  
ネットワークの展望:  
やや楽観的

- リモートプロダクションおよびディストリビューションプロダクションのアプリケーションは徐々に増加
- IP/SDIネットワーク構築の進展がとても遅い
- 4Kおよび8Kの動きは鈍いが、業界の需要は高まっている

IPビデオルーター  
システムの展望:  
ポジティブ

- 日本 - 既存規格(2022-6/TR-01)を使っており、一定の需要が見込まれる
- ほぼすべてのシステムに4K対応が必要 - IPへの移行を推進
  - 競合は数社のみで、Media Linksは優位に立っている(放送局向けソリューションの提供で顧客の知名度高い)
- 日本以外
- 新しい標準規格2110の様子をうかがい、動きは鈍い
  - 4Kの採用は、鈍い
  - 競合多数

## テクノロジーと市場のトレンドー 短期

## 新規顧客： 東海テレビ放送株式会社

- メディアリンクスのIPビデオルーターシステムが、東海テレビ放送株式会社の回線センター設備として採用
- 社内のマスター、各サブ、VTR 室等に加えて、中継先等の社外からの素材交換にも使用
- 従来のSDIとIP をベースとしたマルチメディア対応のシステムを共存させつつ、高解像度ビデオへの柔軟な対応など、より効率的な番組制作ワークフローが実現
- 消費電力削減(装置・空調)、省スペース化を実現



## 事例紹介- 放送局内IPインフラ

## 新規顧客: RCN(米国)

「既存のRCNのユニークなサービスに、素晴らしい映像伝送が加わりました。  
このパートナーシップは、業界全体のIP化への移行を支えるものとなるでしょう。」

RCN ビジネス シニアバイスプレジデントのマイク・カラスキージャ氏

- イベントの規模に合わせて、帯域幅のカスタマイズが可能な配信ソリューションを提供。
- メディアリンクスは、MEFの厳正な審査を通過したキャリア・イーサネット 2.0認証を受けているRCN Businessに選ばれた。  
RCNビジネスは最先端のイーサネットサービスを顧客に提供
- 業界は、IPを利用したコンテンツ配信システムに移行しつつあり、  
将来を見越したソリューションを提供する



## 事例紹介- WANメディアネットワーク

上半期(2018年4月～9月)

通期(2018年4月～2019年3月)

(百万円)

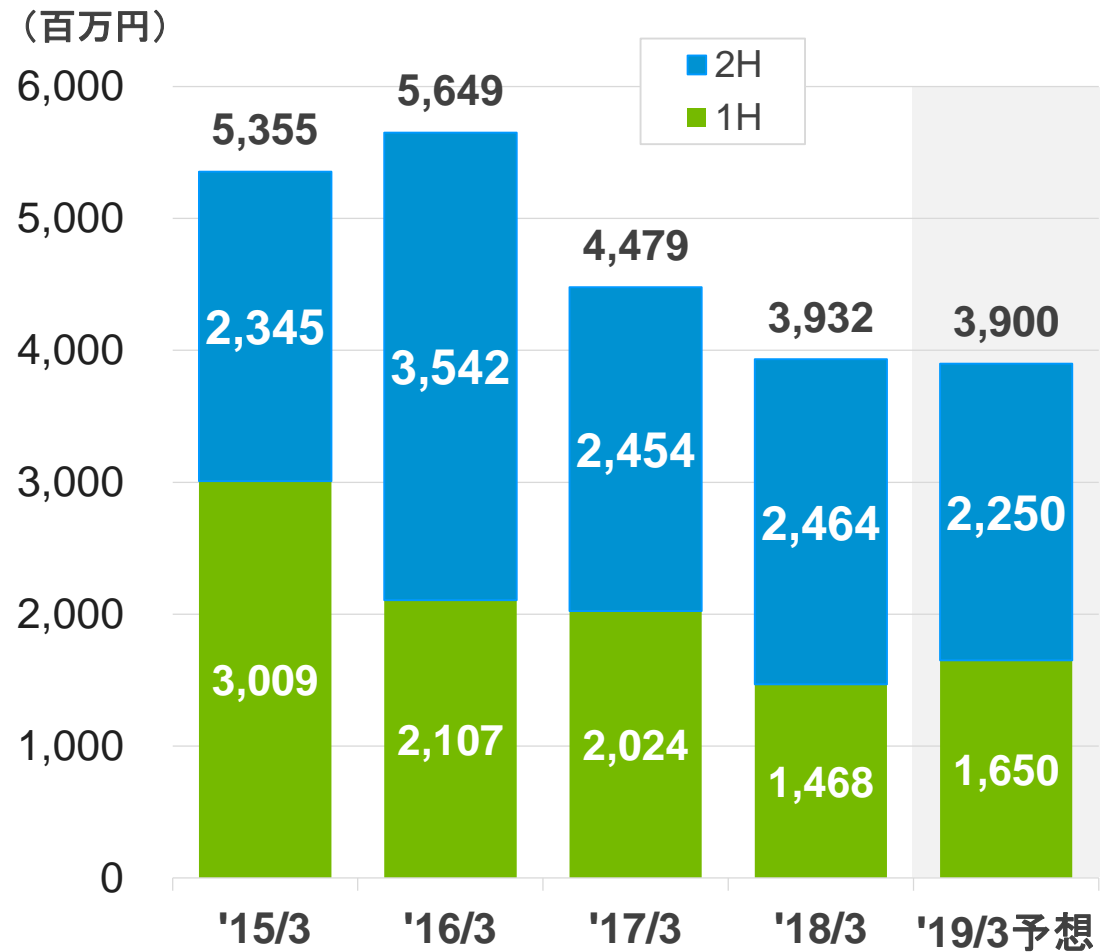
	17/9 実績	予想	増減	前年 同期比
売上高	1,468	1,650	181	12.4%
営業利益	-509	-100	409	-
経常利益	-515	-105	410	-
当期純利益	-560	-115	445	-

	18/3 実績	予想	増減	前年比
売上高	3,932	3,900	-32	-0.8%
営業利益	-390	90	480	-
経常利益	-401	80	481	-
当期純利益	-497	60	557	-

- ・ 通期で黒字に転換予定
- ・ 経費管理の徹底

想定為替レートは、1米ドル105円、1オーストラリアドル80円

## 2019年3月期通期 連結業績予想



**ほぼ前年並み**

顧客は、引き続き購買について、慎重な姿勢を継続すると予測

**国内市場**

オリンピック等の大規模イベントへ向け、映像伝送の需要増加  
 通信事業者、放送事業者、ケーブルテレビ事業者のIP伝送装置や放送局内IPネットワーク構築案件

**北米市場**

リモートプロダクション需要

**豪州、欧州、アジア市場**

大規模イベントや新規顧客の獲得

# 2019年3月期 通期売上見込み



ありがとうございました

Thank you very much



株式会社メディアリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail [ir@medialinks.co.jp](mailto:ir@medialinks.co.jp)

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について  
本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は切り捨てで表記をしております。